

# い キャンプに行ってみよう!

だんだんと暖かくなって、春はもうすぐそこですね。この機会に大自然の中で  
キャンプを始めてみませんか？今回は3つのロケーションの違うキャンプ場とそこ  
で楽しめる自然のアクティビティについて、紹介します。



山では桜や新緑・紅葉など、移り行く四季を見ながら  
のキャンプが楽しめます。キャンプと合わせてハイキ  
ングや登山をするのもオススメです。  
標高が高い所にあるため、夜は星が綺麗に見られま  
すが、その分寒いので、春でも防寒着が必要です。逆  
に夏は涼しいので避暑地として利用されています。

海では海水浴・釣りなどのマリレジャーが楽しめま  
す。海を眺めながらのキャンプは夏だけでなく、季節  
を問わず人気があります。  
ですが、気温が高い夏は熱中症対策が欠かせず、逆  
に冬は風が強いため、テントが飛ばされないようにし  
っかりとした防風対策が必要です。



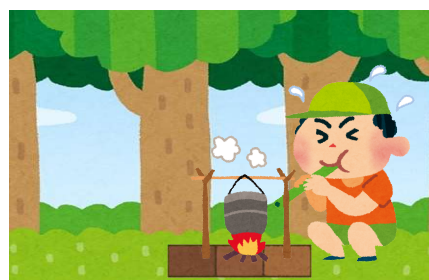
河川や湖などの波の穏やかな場所です。カヌー・  
SUP等のウォーターアクティビティは小さい子ども  
にもオススメです。キャンプ場が森や林の中にある  
ことが多いので、風の影響を受けにくいですが、  
梅雨や台風のシーズンは、水の量が増えて、当日晴  
れていても利用できないことがあります。



# これってだいじょうぶ？キャンプ場の ルール マナー

## たき火

キャンプの代名詞でもある『たき火』も場所によっては、ダメな場合や、制限がある場合などさまざまです。最近ではたき火の熱で地面の植物を傷つけてしまう等の理由で、直火を禁止し、たき火台等の使用を義務付けるキャンプ場が増えています。



▲たき火で芝生が焼けてしまった ▲レンガを敷く、炊事場を使うなどの対策を

## ゴミ

キャンプ場で出たゴミは持ち帰るか、指定された方法で必ず処分すること。くれぐれもポイ捨てや、ゴミを放置して帰ることがないように！土に埋める人もいますが、絶対にダメ。自然豊かなキャンプ場の周りには野生動物達もたくさん暮らしているのです。



キャンプ場のゴミ（エサ）を目当てに、野生動物が集まるようになると、キャンプが出来なくなるどころか、命の危険にもつながります。



他にも、「夜〇〇時以降はしずかに」「犬・猫とキャンプできるか」等、キャンプ場によってルールはさまざま。皆が気持ちよくキャンプできるようにルールとマナーを守って楽しくキャンプをしましょう。





せとないかいこくけつこうえん

じょう しゅうかい

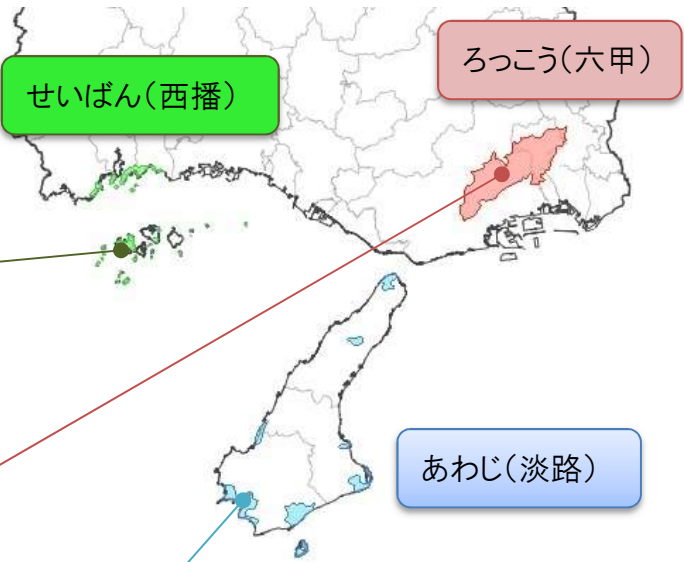
# 瀬戸内海国立公園のキャンプ場を紹介

かんきょうしょう かんり こくりつこうえん なか  
環境省が管理している国立公園の中には

しぜん まんきつ じょう  
自然が満喫できるキャンプ場が

たくさん。その一部を紹介します。

ひょうごけん なんぶ ちず  
兵庫県(南部)の地図



いへしま自然体験(しぜんたいけん)センター



神戸市立 自然の家(こうべしりつ しぜんのいえ)



休暇村 南淡路(きゅうかむら みなみあわじ)

出典：地理院地図（白地図）  
を加工して作成

みんなも  
行ってみてね



## アクティブ・レンジャーを呼んでみよう！ ～出前授業について～

きじか なかむら  
この記事を書いているアクティブ・レンジャーの中村です。

みじか しぜん ほしぞらんさつ しぜん なか まな でまえじゅぎょう  
身近な自然についてや星空観察などの自然の中で学べる出前授業も

おこな きょうみ かた きがる かき そうだん  
行っています。興味のある方は、お気軽に下記までご相談ください。

